

第1地区**報 告 事 項**

1、第2回地区役員会開催

日 時：平成22年10月28日（木）18：30～20：30

場 所：埼玉社会保険病院 第2会議室

内 容：第2回地区勉強会の開催日、内容など

出席者：川口市立医療センター（草間、斉藤）、浦和医師会メディカルセンター（宮沢）さいたま市立病院（双木、佐藤）、済生会川口総合病院（浜野、城處）

（財）埼玉県健康づくり事業団（小笠原）、埼玉社会保険病院（橋本、八木沢、阿野） 計11名

2、第2回 第一地区勉強会 開催

日 時：平成22年12月2日（木）19：00～20：30

場 所：埼玉会館 7階 7A会議室（くぬぎ）

a、施設発表（4施設）

ア、マンモグラフィー検診施設画像認定施設 更新について

（財）埼玉県健康づくり事業団 岡田 義和

埼玉社会保険病院 早瀬 将子

イ、検診マンモグラフィー撮影認定技師 更新について

済生会川口総合病院 飯嶋 亜弥子

済生会川口総合病院 土田 拓治

b、メーカープレゼンテーション（3社）

ア、デジタルマンモグラフィー用CADについて

（株）GEヘルスケア・ジャパン 営業技術部 阿久津 拓光

（株）日立メディコ XR営業部 小松 浩樹

（株）シーメンス・ジャパン ヘルスケア事業本部 橋本 尚美

c、地区忘年会

今回の勉強会は、マンモグラフィー更新について、CAD、マンモグラフィー最新技術などの勉強会で企画しました。約40名の参加で第一地区外の参加もあり地区としても光栄に思いました。また、更新、認定を考えている方の手助けになっていただけたらと考えます。

メーカープレゼンではCAD、マンモグラフィー最新技術のお話が聞けて常に勉強をしていかなければいけないと感じました。（写真：勉強会風景1、2、）

勉強会終了後、地区忘年会をしゃぶしゃぶ温野菜浦和店で約20名で歓談のときを過ごしました。

第3回地区勉強会も沢山の方々が参加していただける企画を地区役員で考えていきますので、よろしくお願ひ致します。

3、さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業

「わくわく☆さいたま☆いきいき祭り」に参加予定

開催日時：平成23年3月12日（土）10：00～16：00

開催場所：さいたま市市民活動サポートセンター/コムナーレ9階（浦和パルコ内）

参加内容：医療で用いる放射線検査についての説明

無料骨密度測定の実施

問い合わせ：埼玉社会保険病院 放射線技術部

第一地区理事 八木沢 英樹

TEL 048-832-4951（内線1150） h-yagisawa@sart.jp



第2地区

所沢市健康まつり参画

2地区理事 肥沼武司

平成22年11月14日（日）、所沢市保健センターにて所沢市健康まつりが開催された。

天候は晴れ、地域市民の方が参加するのはちょうど良い気候となった。

我々、第二地区は毎年この健康まつりには参画しており、自分が役員となって12年間継続した公益活動と記憶している。ここ数年、放射線ブースは主催者側から同じ場所を提供されており、準備や運営については役員はじめ手馴れたもので何一つトラブルもなくスムーズに運営を図ることが出来た。

内容は毎年好評を得ている骨密度測定はじめ、パネル展示、小冊子の配布、子供向けゲームを行った。保健センター全体の来場者は1171名、放射線ブースには約400名の方がお見えになり350名の骨密度の体験計測を行った。

公益活動は今後、県技師会組織として公益社団法人を取得するため、実績のある事業であり、重要な役割を占めていると思われる。しかしながら公益事業は直接会員個々の利益還元繋がらなく、通常一般会員が参加するということはない。逆言えば会員が知らない事業が行われていると思われる可能性がある。近年、日本放射線技師会は「国民から必要とされる職業へ」というキャッチコピーを用いている。公益活動において一般市民の方と触れ合えるのは最高の機会であるが、公益活動を主体と考えるとそこに実際会費を払っている会員への直接的な利益還元の矛盾を少なからず感じる。

はじめに述べたが所沢健康まつりは12年連続で参画しており、地域にある程度認知されている団体だと自負している。今後は県や全国でも同様なイベントが増えることが示唆されることから、地区として10年という一つの時代を経験したことから別の形で公益活動を催す方法はないかと感じたりする。特に思いついた手法はないので無責任だが、市民にも会員にも同時に利益のある活動があれば素敵なことと思う。

今回開催された健康まつりは市制60周年記念として開催された。内容は例年通りの感じであったが当麻市長、自民党衆議院委員の柴山氏が訪れ、医師会をはじめ薬剤師会、栄養士会など15を超える参画団体に労いの言葉をかけた。このような団体が集まり地域に健康促進をめざす所沢市としては良いイベントだと思ひ、長年参画してきた我々も地域に貢献ができたことを誇りに感じた。

公益活動実施にあたり役員はじめ実行委員の方には地域の方と楽しく触れ合えスムーズに運営が行えたことを感謝いたします。

【実行委員】 肥沼武司 武田義昭 安保靖彦 柴俊幸 伊藤寿哉 藤井大悟 中邑友香

【協力】 肥沼春人



「第9回 市民公開講座」 開催報告

第2地区 原田病院 瀧澤 誠

平成22年11月17日（水）18時より埼玉県放射線技師会第2地区主催の市民公開講座が開催されました。今回で9回目を迎え、テーマは「乳がん」です。

平日の18時、当日は冷たい雨と言う悪条件の中、約60名の皆様のお集まりいただきました。

講演内容は、「乳がんを体験して」、「乳房撮影（マンモグラフィ）について」、「乳がん～検診の意義と最新治療～」の3講演です。

最初に「乳がんを体験して」。この講演は一般市民の体験談です。よくそんな人が見つかりましたね？とお思いですか？ はい、実は、2地区会員の職場の看護師さんです。

しこりが気になり、受診、検査、診断、乳がんと判ったときは、医療職とは思えないほど動揺したそうです。しかし、病気を受け止め、戦う覚悟ができたそうです。放射線治療、抗がん剤の話など実際に乳がんに罹り治療までの貴重なお話でした。

次は「乳房撮影（マンモグラフィ）について」。2地区会員で所沢市市民医療センター勤務の中邑氏の講演です。日本人は、生涯でどのくらい乳がんにかかるのか、罹りやすい年齢はどの年代なのか、検診の内容はどんなものか、実際の撮影風景をビデオで流し説明していただきました。市民の皆様に非常に分かりやすい講演でした。

最後に「乳がん～検診の意義と最新治療～」。瀬戸病院 乳腺外科非常勤医師 佐藤先生の講演です。乳がんとはどんなものなのか、罹りやすい人はどんな人なのか、検査とはどんなものなのか、浸潤癌と非浸潤癌の違い、乳がん手術の方法、化学療法、遺伝子検査の話と盛り沢山でした。専門的で、市民の皆様には難しいところもありましたが、検診マンモグラフィの有効性は十分理解していただけたのではないのでしょうか。

乳がんは、早期に発見できれば、生存率の高いがんです。マンモグラフィの有効性をもう一度考えましょう。

放射線技師会の活動、診療放射線技師の仕事が市民の皆様に少しでも理解していただければ幸いです。最後に、講師の皆さん、実行委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。



第3地区

第三地区会だより

○平成22年11月7日(日) 第24回 川越健康まつりに協賛しました。
 川越みんなの健康プラン 家族そろって健康づくり 川越総合保健センター 川越市小ヶ谷817-1
 協賛催し内容：『あなたのための医療画像展』コーナー
 埼玉県放射線技師会パネル展示と各種放射線検査についての説明
 川越総合保健センター乳房用X線撮影装置の説明
 3Dワークステーション (Konica & GE) 展示
 来場者および医療画像に関するクイズ参加者に川越お菓子屋横丁ご用達菓子と餅飴の景品配布
 オープニングイベント オカリナ演奏
 セカンドイベント 獅子舞



賛同ご協力 コニカミノルタヘルスケアさん



GEヘルスケア・ジャパンさん



参加者：埼玉医科大学病院 地区役員 戸矢 雅人 栗田 京介
 協力参加 山村麻衣子 菅原 香里
 埼玉医科大学総合医療センター地区役員 沼本 健一 永井 敦志
 埼玉医科大学国際医療センター地区役員 星野 孝之
 第3地区理事 澁市 直紀



川越のゆるキャラも参加：健康まる君 と ときも (時の鐘とさつま芋から命名)

川越総合保健センター来場者総数 2685人



『あなたのための医療画像展』コーナー 621人 + 健康まもる君も来訪 (^ ^)
 しっかり景品ももって行きました。

年々自身、家族の健康に興味ある方が増えている。GE さんのたらばがにの3Dが好評であった。

○平成 22 年 11 月 25 日 (木) 19:00～ 第2回 勉強会開催

場 所：埼玉医科大学国際医療センター C棟1階 カンファレンスルーム 13

内 容：【造影剤と腎障害】 バイエル薬品株式会社 越膳 久之 様

参加人数：14名

○平成22年11月26日 (金)

第24・25回川越健康まつり第3回実行委員会 澁市理事出席

①第24回 川越健康まつり 事業報告

②実施状況報告

③来場者調査結果報告

④第25回 川越健康まつり 開催計画

○平成23年1月8日 (土) 19:00～ 新年会開催

会 場：和風居酒屋 旬天旬菜 然 (ぜん)

* 今 後 の 予 定 *

平成22年度 第三地区 総会

1. 日 時：第3回勉強会後企画

2. 場 所：検討中

第3回 第三地区 役員会

1. 日 時：第3回勉強会後企画

2. 場 所：検討中

第4地区**深谷市福祉健康まつり医療画像展報告**

第4地区会 長谷川英治誠

10月31日（日）深谷市ビッグタートルにて第5回深谷市福祉健康まつりにて医療画像展を行いました。この福祉健康まつりは10月30日、31日の2日間での予定でありましたが、折しも台風14号の接近により、30日（土）は中止を余儀なくされ、31日（日）1日だけの開催となりました。当日は雨も上がり、多くの方々が各テントを回る中、医療画像展ブースにもお立ち寄りいただき、人気の骨密度測定では、250名ほどの方々の計測を行いました。計測をお待ちいただくあいだ、各パネルも興味深く見ていただき、実行委員も熱心に説明を行っていました。

今回もコニカミノルタヘルスケア(株)にご協力いただきPACSビューアーを展示し、フィルムレス化への動きを、一般市民の皆様へ説明できたかと思えます。

実行委員の皆さまお疲れ様でした。



第5地区



第五地区



地区勉強会

放射線部門におけるネットワークの基礎と必要性

アライドテレシス株式会社

2月18日(金)に越谷中央市民会館にて開催

午後7時～



第五地区親睦ゴルフ

4月29日(水)に千葉カントリー越谷コースにて開催予定



第5地区医療画像展in第36回越谷市民祭り

第五地区理事 矢崎 一郎

10月24日（日曜日）、最高気温17.5度の曇り空の中、第36回越谷市民祭りが開催されました。

越谷市は、古くは日光街道の宿場町として栄え、昭和33年の市制施行以来、都市化が進み現在は人口32万7千人を擁する埼玉県東南部地域の中核都市として発展を続けています。最近では、JR武蔵野線の越谷レイクタウン駅にあるイオンレイクタウンショッピングセンターは、日本最大級の規模でテレビでも度々放送されるスポットとなっており週末は多くの人で賑わっております。

越谷市民祭りも第36回を迎え、本会第五地区も今年で5回目の参加となりました。

越谷市民祭りは10年近くも雨に当たらず、今年も例年の通り雨の心配はありません。

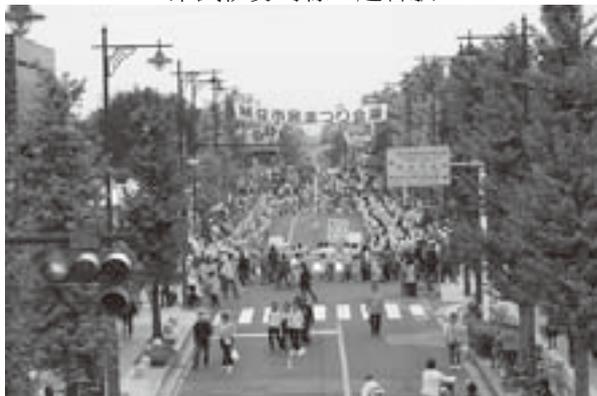
例年20万人の人出でにぎわう市民祭りですが、不景気といわれる昨今ですが例年以上の盛り上がりを見せていたように感じました。医療画像展のブースも、骨密度測定をはじめ3Dワークステーションのデモンストレーションや被ばく相談と例年通りではありましたが、骨密度測定は、403名の方の測定を行いました。用意したパンフレットは、あっという間に無くなり、年々関心の高さが増しているように感じました。病院では話すことのないような会話がフランクに交わされながらも、こちらの解説には真剣に耳を傾けていただき、楽しみながらもいろいろな勉強ができ良い経験が出来た一日でした。



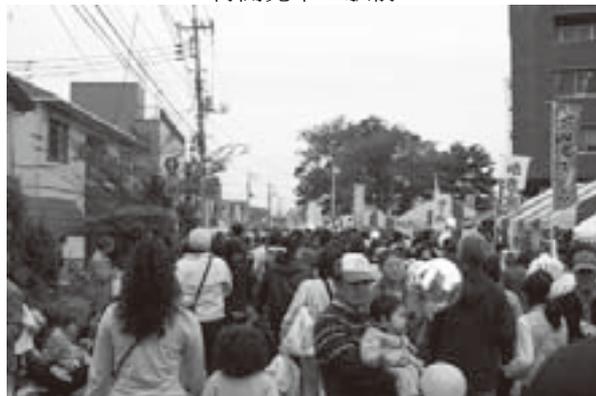
東武伊勢崎線の越谷駅



再開発中の駅前



各種団体によるパレード



早くから大勢の人で賑やか



いろいろなイベントが催されていた。



子供達には、特典がいっぱい



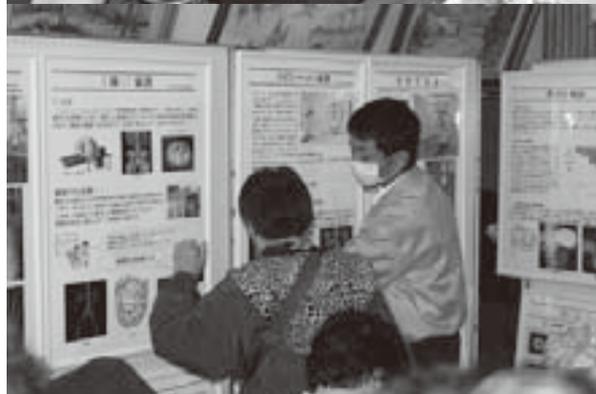
アトラクションも大人気!



演舞も多くチームがエントリーされていました。



隣のブースでは、血管年齢の測定も



相談者の熱心さに脱帽！



403 名の方が測定をされました。



3D 画像は、親子連れに人気がありました。

第6地区

Lock ON

埼玉県放射線技師会第六地区

発行：埼玉県放射線技師会第六地区会

1. 巻頭言 総務 大角 哲也
2. 第2回定期講習会報告
3. 忘年会報告
4. 定期総会及び第3回定期講習会のお知らせ

2010年12月5日 平成22年度 第5号

一人ではない！

総合療育センターひまわり学園 大角 哲也

第六地区会の役員を担当することになってから、早いもので2年が経とうとしています。六地区では総務を担当しており、納涼会、ボーリング大会、忘年会等の行事を企画しています。まだまだ未熟な私ですが、他の担当者に力をかしていただき、また協力しながら会員の皆様方が少しでも楽しめるような企画を用意してきましたつもりです。今後いろいろな行事を企画していく予定ですので、会員の皆様にはぜひともご参加いただければと思います。

さて、今回の巻頭言では、少し私のことを話させていただこうと思います。こんな私でも診療放射線技師になってから約8年、現在の職場で働くようになってから約4年になろうとしています。現在の職場では診療放射線技師が1人しかおらず、数年前からはもう1つの施設でも私1人で診療放射線技師の業務を行っている状況です。以前六地区会の会報誌の『LOCK ON』や埼玉県放射線技師会の会報誌でも掲載させていただきました施設紹介での説明にもあったように、主な日常業務としては、リハビリテーション科と整形外科の一般撮影と小児神経科からのVF検査（嚥下造影検査）になります。

総合療育センターひまわり学園は大病院でもなく、また、入院設備もないため一日の撮影人数は少ないです。言い訳になると思いますが、このようなことから一般撮影などの撮影技術が他の病院の診療放射線技師と比

較すると劣っていると常常感じています。しかし、このような状態を少しでも改善できたらと思数年より医療科学社が出版している『X線撮影法』を再度読み直し撮影のポジションニング等を確認し、日々の撮影に望んでいます。また、近年では医療被ばくについての意識や関心が診療放射線技師、患者ともに高まってきていると感じます。今では『医療被ばく低減施設』に認定されている病院も多くなってきています。総合療育センターひまわり学園では『医療被ばく低減施設』に認定されることは非常に難しいですが、小児専門の施設と言うこともあり、医療被ばくを少しでも低減できるように撮影条件等にも気を配りながら日々の撮影に臨んでいます。

簡単ではありますが、私の業務と現状を話させていただきました。しかし、皆様方の職場ではどうでしょうか。私と同じような状況に置かれたことはなかなかないと思います。皆様方の職場では同じ診療放射線技師が複数人



L o c k O N

いるのではないのでしょうか。自分の周りには同じ職種の人が出て、何か困ったことがあれば相談できる素晴らしい環境があると思います。そのような職場を私は羨ましく思っています。ただ、羨ましく思っているだけではいけないので、日本放射線技師会や埼玉県放射線技師会に入会し、いろいろな勉強会に参加し、

私自身の疑問を解決し、相談事にもものってもらっています。皆様方も、職場では解決できない疑問等があった場合には、日本放射線技師会や埼玉県放射線技師会や各地区会にその疑問等をぶつけてみてはいかがでしょうか。きっと何か良い解決方法が見つかるはずです。

平成 22 年度 第 2 回定期講習会報告

上尾中央総合病院 酒井 千尋

平成 22 年 11 月 4 日（木）に上尾中央総合病院看護研修センターにて第 2 回定期講習会が開催されました。

今回は『コメディカルスタッフに対する MRI 検査講習会を開催して～臨床画像を中心に～』『ブラウン法とニフレック・ガスモチン併用との比較』『当センターにおけるステレオマンモトームの現状』の 3 つのテーマについてご講演いただきました。

1 題目の『コメディカルスタッフに対する MRI 検査講習会 講師：上尾中央総合病院 矢島 慧介様』は、診療放射線技師が定期的に全職員を対象とした講習会を開催し、他職種スタッフにも検査の流れや内容を理解してもらうことで、スタッフ間の連携を高めているとのことでした。

今回取り上げた MRI 検査の講習会においては、MRI 検査で度々問題となる体内金属や磁性体の検査室持込みの危険性について他職種にも分かりやすく解説されており、安全管理に対する意識も高まったようです。また、様々な症例の画像を提示することで画像に対する興味が深まり、より一層検査への協力が得られる結果となったとのことでした。

2 題目の『ブラウン法とニフレック・ガスモチン併用との比較 講師：丸山記念総合病院 高嶋 豊様』は、ニフレックにガスモチンを併用することで、ニフレックのみの前処置での問題点であった水分の残留を大幅に改善できるそうです。下剤効果の比較でも、最大 22 時間続くブラウン法での下剤効果がニフレックでは 30 分～1 時間程度と短く、患者様の負担が軽減されるとのことでした。

注腸検査に携っていると、患者様から下剤効果や検査食についての辛さを訴えられることがあります。様々な前処置方法とその利点・欠点を理解し、患者様の負担が軽減できるような処置を選択できるように知識を深めていく必要があることを実感いたしました。

3 題目の『当センターにおけるステレオマンモトームの現状 講師：埼玉県立がんセンター 坂本 恭子様』では、検査手技の流れや適応についてご講演いただきました。当院では 10 月にマンモトーム生検を始めたばかりということもあり、多数の症例をご提示いただきながら生

Lock ON

検手順をご教示いただくことで、よりわかりやすく検査を理解することが出来ました。なかでも、当院では未だ経験の無い横アプローチの手技での針の開口部と石灰化位置の読み方は大変参考になりました。

今回の3題を通して、どの検査においてもスタッフの知識や技術・スタッフ間の連携・患者様の協力なくして安全かつ高度な医療は提供できないということを改めて感じました。

ご講演いただきました講師の皆様には深く感謝申し上げます。



忘年会報告

指扇病院 榎本雅彦

11月25日(木)に大宮個室物語竹取御殿にて、平成22年度第六地区忘年会が行われました。寒い中、ご参加された会員の皆様ご協力ありがとうございました。

参加人数25人と前回より多数のご参加、企画側としてうれしい限りです。他施設の会員の方々との親睦がはかれ情報交換やモチベーションの向上に役立ったのではと思っております。今回ご多忙のため参加できなかった会員の皆様、平成23年度も納涼会や忘年会等を企画致しますので、是非ご参加くださいますようよろしくお願い致します。

お知らせ

L o c k O N

平成22年度 埼玉県放射線技師会第六地区会 定期総会及び、第3回定期講習会のご案内

平成22年度 埼玉県放射線技師会第六地区会定期総会及び、第3回定期総会を下記のとおり開催いたします。ご参加の程よろしく願いたします。

1. 日時 平成23年 3月17日(木) 19:00～
2. 会場 さいたま赤十字病院 本館5階 第3会議室
3. プログラム
 - (1) 総会
 - ・平成22年度事業報告
 - ・平成22年度決算報告
 - ・監査報告
 - 事業監査報告
 - 会計監査報告
 - ・平成23年度事業計画案
 - ・平成23年度予算案
 - ・その他
 - (2) 定期講習会
 - テーマ1 : 『各施設の教育システムに関するアンケート調査報告』
発表者 第六地区会役員
 - テーマ2 : 『もやもや病について』
講師 指扇病院 安川 鉦平様

告示

埼玉県放射線技師会第六地区会規約に基づき平成23年度及び平成24年度の役員選挙を下記のとおり告示します。

1. 選挙にて選出する役員の定数
会長：1名